



# 第35代中部方面総監

## 野澤陸将 着任

令和元年8月23日(金)付で第35代中部方面総監野澤 真(のさわ しん) 陸将が着任した。



方面総監統率方針  
**任務完遂**

発行所

〒664-0012 兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1  
電話・072(782)0001

陸上自衛隊

中部方面総監部広報室

26日(月)晴れ渡る空の下、総監部庁舎前において、隷下部隊の指揮官をはじめとする隊員約400名が参列して野澤総監の着任式が厳粛に挙行された。  
着任式に引き続き行われた記者会見では、8社10名の報道関係者の取材に対応した。



記者会見

### 着任の辞(要旨)

我が国を取り巻く安全保障環境は、周辺国による軍事活動の活発化もあり、依然として不透明・不確実である。加えて、昨年7月の豪雨災害など、想定外といわれるような災害も頻発している。さらに方面管内では甚大な被害をもたらしかねない「南海トラフ地震」の発生も危惧されている。こうした厳しい環境の中でも、我々は常に与えられた任務を迅速・確実に遂行しなければならぬ。このため、私は「任務完遂」を統率方針とし、これを成し遂げるため「改善・進歩」と「地域との連携」の2点を要望する。そして、私自身が諸官の先頭に立って「任務完遂」のために全力を尽くすことをここに約束する。

## 岩屋防衛大臣 視察

守山駐屯地

中部方面隊(第10師団)は、7月30日(火)、守山駐屯地において岩屋防衛大臣の視察を受けた。防衛大臣は、献花・黙祷を捧げ、儀仗隊による出迎えを受けた後、第10師団長(鈴木陸将)による状況報告により、三重県いなべ市などで発生した豚コレラに関する災害派遣状況等について把握された。また、派遣時に着用するタイベックススーツを着た隊員を直接実視し、現地活動の現状等を確認された。  
駐屯地隊員への訓示では、豚コレラへの度重なる対応の労をねぎらうとともに、自身に課せられた責務の重さを認識し、職務に精励することへの期待を述べられた。



巡閲



訓示



状況報告



慰霊碑への献花



# 「短SAM・近SAM射撃 静内対空射撃場」

# 対空実射

第3師団 第10師団 第13旅団 第14旅団

第3師団(師団長 田中陸将)、第10師団(師団長 鈴木陸将) 第13旅団(旅団長 山根陸将補) 及び第14旅団(旅団長 小和瀬陸将補) は、各々与えられた期間、隷下部隊の対空実射訓練(短SAM・近SAM)を静内対空射撃場(北海道)で実施した。射撃練度の維持・向上を図ることを目的として行われた本訓練を通じて、隊員達は、日頃から非実射訓練を通じて鍛えてきた射撃練度の更なる向上を実弾射撃により図った。



第10師団 (8月10日～13日)



第3師団 (8月16日～24日)



第14旅団 (8月9日～15日)



第13旅団 (8月6日～12日)

# 「12.7mm重機関銃射撃 佐多対空射撃場」

第3師団 第13旅団

第3師団(師団長 田中陸将) 及び第13旅団(旅団長 山根陸将補) は、各期間において、佐多対空射撃場(鹿児島)で対空実射訓練(HMG)を実施した。本訓練は、対空射撃練度の維持・向上を目的として実施され、所望の成果を得ることができた。



第13旅団 (8月14日～17日)



第3師団 (8月11日～14日)

# 訓練

# 「約4,000頭を殺処分」第10師団

災害派遣

第10師団に所属する第33普通科連隊(連隊長 石原1佐)は、三重県いなべ市で発生した豚コレラに対する三重県知事からの災害派遣要請を受け、7月24日(水)から師団管内で今年度7回目となる災害派遣を実施した。5個班(約175名)を編成し、24時間態勢で約4千頭の殺処分活動を実施し、7月27日(土) 三重県知事からの撤収要請を受け、支援活動を終了した。

# 豚コレラ(三重県いなべ市)



個人除染をする隊員



豚の運搬を実施する隊員

# 第10師団 第14旅団



第10師団 (7月27日～31日)

第10師団(師団長 鈴木陸将) 及び第14旅団(旅団長 小和瀬陸将補) は、各期間において、六ヶ所対空射撃場(青森県)で対空実射訓練(携帯SAM)を実施した。

本訓練は、携帯地对空誘導弾装備部隊の射撃練度の維持・向上を目的として実施され、所望の成果を得ることができた。



第14旅団 (8月6日～11日)

# 「携帯地对空誘導弾射撃 六ヶ所対空射撃場」



# 原田防衛副大臣 視察

## 青野原・姫路駐屯地

青野原駐屯地（駐屯地司令 小山1佐）、姫路駐屯地（駐屯地司令 堀川1佐）は、7月29日（月）原田防衛副大臣の視察を受けた。

副大臣は、駐屯地司令による状況報告に引き続き、中SAM器材の展示説明、高射特科群及び高射中隊が行う対空作戦・戦闘要領の展示説明を受けられ、自らも射撃統制装置の操作を体験され、中SAMの高い能力及び駐屯地所在部隊の現況を視察された。

姫路駐屯地では、慰霊碑への献花、記念撮影、状況報告に引き続き、対空・火力戦闘要領の展示説明、大型車の試乗体験を通じて、駐屯地所在部隊の現況を体感された。



器材展示・説明（青野原駐屯地）



隊員との懇談（姫路駐屯地）



慰霊碑への献花（姫路駐屯地）

また、隊員との懇談では、副大臣自身の思い出や、自衛官及び自衛隊を取り巻く環境の変化について発言された。もねぎらいの言葉をかけられた。

# 鈴木防衛大臣政務官 視察

## 金沢駐屯地

金沢駐屯地（駐屯地司令 梨木1佐）は、令和元年7月30日（火）、鈴木防衛大臣政務官の視察を受けた。政務官は、献花、地点指示、状況報告に引き続き、営内隊員の居住環境等を確認され、金沢駐屯地の現況を把握された。



献花



営内巡視

# 第34代岸川総監 離任

8月21日（水）、伊丹駐屯地において第34代中部方面総監岸川陸将の離任式が行われた。岸川総監は、平成29年8月着任以来、「任務の完遂」を統率方針とし、「生々躍動」を要望して、『One Team! 心一つに!』を合言葉に「今日に即動し、明日に備える強靱な中部方面隊の創造」に尽力された。

この間、防衛・警備任務、30回にわたる災害派遣任務、3回の国際平和協力活動等、多大な成果を収め、8月23日（金）付をもって、約40年にわたる自衛隊勤務を全うされた。岸川総監は、離任式で、これまで勤務してきた先輩・同僚・後輩等全ての人への「誇りと感謝」、中部方面隊へ与えられている役割に引き続き



見送り

き応えることへの【期待】、隊員に【忠恕】・【任重く道遠し】の自覚を促して、約300名の総監部勤務者に惜しまれつつ見送られた。



儀じょう



離任行事

# 伊丹・川西駐屯地合同納涼夏祭り

## 伊丹駐屯地

8月7日（水）伊丹駐屯地及び川西駐屯地は、隊員相互の団結強化、隊員家族及び地域住民との交流を深めるため、伊丹駐屯地において合同で納涼夏祭りを行った。開門と同時に近傍から約5,500人に及ぶ大勢の家族連れが訪れ、じゃんけん大会や盆踊り、夜店等、子供から大人まで夏の夜の楽しいひとときを過ごした。



大盛況のじゃんけん大会



# ふあみさほ通信 (連載:第33回)



自衛隊応援団長の日

昨年は、京都府内に所在する4コ駐屯に始まり、京都府内から「京都府自衛隊家族会」と連携を開始しています。

### 関西補給処

関西補給処は、京都府南部(宇治市)に位置し、「宇治市を含む6市1町」の家族支援施策を担っており、平成27年から「京都府自衛隊家族会」と連携を開始しています。

地と家族会・隊友会各地区会との初の合同開催である「京都府家族支援担当者会」において、担任区域役割の認識を共有するとともに、新たに「京都府隊友会」との連携も開始し、関係を深めています。

令和に入り、5月は安否確認の支援を要望する宇治駐屯地所在隊員に対し、京都府における家族支援の担任区域等の説明を実施し、6月は家族会役員宅で実施している「自衛隊応援団長の日」(家族会会員と隊員・家族との交流の場)において、関西補給処における家族支援の進め方について意見交換を行いました。

7月の「自衛隊応援団長の日」は、念願であった隊員家族と京都府自衛隊家族会の顔合わせを初めて実現することができ、大きな一歩を踏み出しました。



Girl's イベント参加者の皆様

これからの案内を通じて同行する女性自衛官との距離を縮め、女性自衛官の体験談紹介やグループ毎のフリートークでは、すっかり打ち解けた様子で大変な盛り上がりとなりました。

参加者からは、「とても楽しかったです。受験してみたくありませんでした。」「皆さんが本当に楽しそうで、親として安心しました。」などの感想をいただき、自衛隊に対する理解と親近感の向上に繋げることができました。

島根地方協力本部は、今後も部隊と一体となった広報活動を展開し、自衛隊の認知度向上と職業としての自衛隊への理解向上に努めて参ります。

## 地本のチカラ (連載第14回 : 島根地本)

自衛隊島根地方協力本部(本部長 高橋1佐)は、令和元年8月4日(日)陸上自衛隊出雲駐屯地において、女性限定「Girl's Day」を初めて開催しました。

参加した女性対象者及び保護者等合わせて29名は、4つのグループに分かれて案内役の女性自衛官と行動し、駐屯地医務室、会計隊事務室、車両整備工場、生活隊舎、厚生センター、各種装備品の見学及び隊員食堂での体験喫食、また、制服試着体験、車両体験試乗及び暗視眼鏡体験の各種自衛隊体験を通じて、自衛官の勤務環境・生活環境に対する理解を深めることができました。

## 「令和」 ~Beautiful Harmony~

陸上自衛隊 中部方面隊 創隊59周年記念行事

# 令和

~Beautiful Harmony~

令和元年 10/6日

9:00 - 15:30 伊丹駐屯地 音楽広場

イベント内容  
▶ 創隊59周年記念式典  
▶ 音楽イベント(宇治市音楽祭) ▶ 祝賀会

072-782-0001(内線)  
<https://www.mod.go.jp/gsf/mae>

### CSMの提言

元米海軍大将ウィリアム・マクレイ氏が、母校のテキサス大学の卒業式で行った有名なスピーチがある。彼は大学のスローガンである「ここで始まるものが世界を変える」をテーマに約8,000人の卒業生達に語った。

### 「感化力」

その冒頭の部分で彼は、「今ここにいる卒業生一人一人が、たった10人の人生を変えることができたなら、また、10人の人生を変える心掛けを5世代が持ち続ければ、8億人の人生を変えることになる。それは誰でも起こせることだ。」(要約)と語った。

我々、最先任上級曹長に求められる資質の中に「感化力」がある。それは隊員一人一人に対して何らかの影響を与え、考え方や行状を変える能力である。一度に多くの隊員を感化することはできなくても、何かのふとしたきっかけや、時に辛抱強く隊員と接し、会話していくことで、いずれその思いが伝わり、何かを変えることができると、このスピーチを聴き強く感じた。人の気持ちを变えることや考えを同調させることは、たやすいことではない。身近な誰かから少しずつ伝え、浸透させ、部隊・隊員の思いが一つになれるよう、階級や地位による強制力だけではなく、自らの人間力で人を感化できるように努めたいと思う。